

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

福岡市立小呂小中学校

【GIGA×指導の工夫・改善】 小学6年総合「思考ツール×ICTで新しい考えを導く取組」

<考察>

小学6年総合的な学習の時間「未来へ続く」において、子どもたちは「戦争の状況」「平和という言葉の意味」「小呂島と戦争の影響」について調べ学習を行ってきた。第10次においては、「自分が思う『平和』について考えをまとめよう」という学習のめあてで授業が展開された。

この授業では「平和についての考え」をピラミッドチャートで可視化することを主な手立ての一つとしている。ICT端末を活用することで子どもたちは互いにどのような考えをもっているかを明確に理解することができ、「詳しく知りたい」「自分と何が違うのか聞いてみたい」と意欲的に交流活動を行っていた。

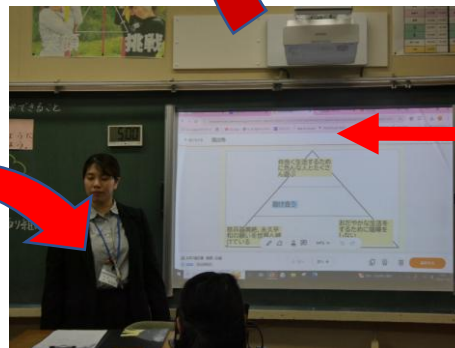
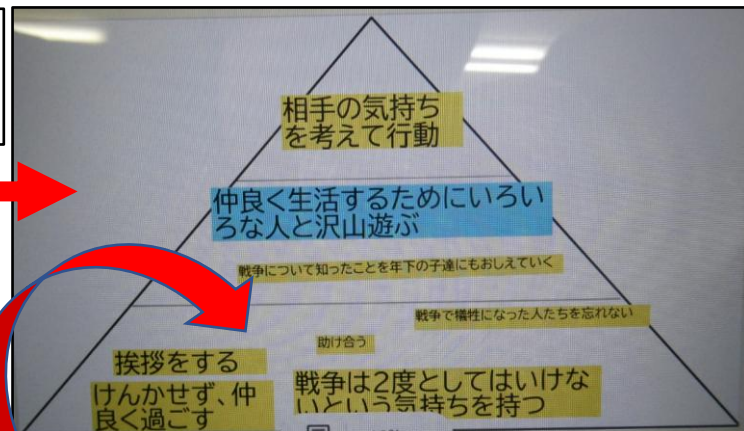
授業者は、交流活動の様子を見ながら、「お互いの考えの中で取り入れたいものは何か」という発問を行っている。

そのことで、自分にはなかった新しい考えを取り入れた上で、自分にできることは何かについて自分の考えをまとめることができていた。

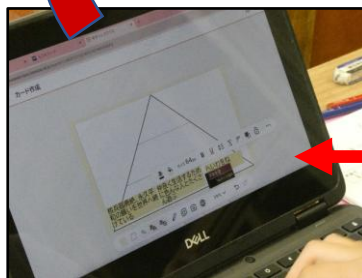
思考ツールとICT端末を効果的に掛け合わせて活用することが、子どもたちの新たな考えを導き出すことにつながったと言える。

ピラミッドチャートをICT端末で共有

交流後、「自分ができること」を視点に、何がピラミッドチャートの頂点になるか考える。



「平和」についての考えを交流し、他社の意見が納得できるものかどうか考える。



「平和」について自分の考えをピラミッドチャートにまとめる。